

復興祈念

菅野潤 & ザルツブルガー・ゾリステン

# 第2回 しのまち音楽祭

SHIO NO MACHI

東西の「塩の街」を結んで

## 春を告げるコンサート



### ●出演

菅野 潤

(ピアノ)

ザルツブルガー・ゾリステン

ルツ・レスコヴィッツ (ヴァイオリン)

ウヴェ・ヒルト＝シュミット (チェロ)

若手招待演奏家

石丸友貴 (ピアノ)

小山あずさ

(ヴァイオリン/ヴィオラ)



### ●プログラム

バッハ「シャコンヌ ニ短調 BWV1004」

モーツァルト「ヴァイオリンソナタ ト長調 KV379」

ドヴォルジャーク「ソナチネ ト長調 Op.100」

シューベルト「アダージョとロンド・コンチェルタンテ  
へ長調 D487」

ブラームス「チェロソナタ第一番 ホ短調 Op.38」

モーツァルト「ピアノ四重奏曲 変ホ長調 KV493」

平成29年

とき **3月4日(土)** 開場15:00 開演16:00~

※地酒やお寿司もお楽しみいただけます(有料)

●主催/塩竈市遊ホール協会

●後援/オーストリア大使館  
マリネット・BAY WAVE78.1

●協力/塩釜市商業協同組合

塩竈市遊ホール(壱番館 5F)

塩竈市本町1番1号 TEL 022-365-5000

入場料 **前売** 一般 2,000円 高校生以下 1,000円

(全席指定) **当日** 一般 2,500円 高校生以下 1,500円

お問い合わせ:塩竈市遊ホール協会 TEL 022-365-5000

### 【プレイガイド】

松尾カメラ、メロディーズ、ミュージックスタジオキューブ、美容室  
マサヒコ、喫茶ノンノン、しおがま・まちの駅、ヤマザキショップ塩釜  
すすきや店、多賀城市文化センター、金犬くん利府店、株式会社仙台  
三越、カワイミュージックショップ仙台、遊ホール協会ローソン  
チケット(Lコード21343) チケットぴあ(Pコード319-629)

※会場へは公共交通機関をご利用ください。

※未就学児をお連れの方は、親子室をご利用ください。

※託児をご希望の場合は、公演の1週間前までに、しおがま子育て支援  
センター「こころん」までお申し込みください。

TEL363-3630(1歳以上、お一人につき500円(定員10名))

◎平成29年3月2日・3日 学校や地域を訪問し、アウトリーチコンサートを開催します。6

## 塩の縁 えにし

まちの名に「塩＝ザルツ」を持ち、塩とかかわりながら長い歴史を紡ぎ、発展してきたそれぞれ東西二つのまち。

それが塩竈とザルツブルク(オーストリア)です。

震災後の2011年秋、しおがま文化大使・菅野潤さんと共演するザルツブルクの音楽家が、いち早く本市を訪れ、復興支援コンサートを開催しました。

東西、そして海と山。それぞれの「塩の街」が悠久の時を超えて出会い、縁(えにし)で結ばれています。

### ◆出演者プロフィール



#### 菅野 潤 (ピアノ)

パリを拠点とし、国際的に活躍するピアニスト。世界の音楽界で信頼を集め、著名な演奏家との共演も多数。国際コンクールの審査員やマスタークラスの講師としても世界各地に招かれている。

松江市生まれ、3歳で塩竈市に移り住む。第13回全東北ピアノコンクールにて第1位、文部大臣奨励賞受賞後、桐朋学園に進み、同大学音楽学部ピアノ科卒業。来日したオリヴィエ・メシアン夫妻との

出会いを機に、フランス政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院に留学し、ピアノ科、室内楽科でそれぞれ一等賞を得て卒業。その後、パリ・エコール・ノルマル音楽院に在籍し、審査員全員一致で演奏家資格を得る。

数々の国際コンクールに上位入賞後、活発な演奏活動を始め、これまでに、パリ・シャンゼリゼ劇場など世界各地の主要ホールでのリサイタルのほか、NHK交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、ミュンヘン交響楽団、ベルリン室内合奏団などと共演。室内楽の分野では、ウィーン弦楽四重奏団、ベルリン弦楽四重奏団、ザルツブルク・モーツァルテウム四重奏団、またウェルナー・ヒンク、ピエール・アマワイヤル、フランク・シュタートラーの各氏らと、欧米各国および日本で数多く共演し、安定した評価を得ている。これまでに、バッハからメシアンまでのレパートリーを収めたCDがリリースされている。近年ALM RECORDSよりリリースされた「メシアン：幼子イエズスに注ぐ20のまなざし」、および「ドビュッシー前奏曲集 第1巻&第2巻」は、讀賣新聞紙上で紹介され、また「レコード芸術」誌特選盤に選ばれるなど、幅広い支持を集めた。2014年に演奏生活30周年を迎えた。2015年11月には新譜「菅野潤 plays モーツァルト」をリリース。帰国時には国内での活動にも精力的に力を注ぎ、また「しおがま文化大使」としても地元音楽文化振興に貢献している。

### 若手招待演奏家



#### 石丸友貴 (ピアノ)

仙台市生まれ。2011年桐朋学園大学在学中にパリへ留学。翌年最優秀の成績で卒業し、パリ国立高等音楽院に入学。現在修士課程2年在学中。第5回パナマ国際ピアノコンクール入賞。第1回 Jacques Taddai コンクール(ニース)入賞、第4回フォーレ国際ピアノコンクール第3位。また、仙台、ニース、イタリア・イスピア島にてリサイタルを開催。

また、2012年7月パリ市庁舎にて東日本再生ビジョン展「七夕コンサート」に出演、2014年3月スペイン・セビリアにて東日本追悼コンサートに出演。

これまでに庄司美知子、菅野潤、竹内啓子、本村久子、Olivier Gardon、Claire Désert、Emmanuel Mercier、Romano Pallottiniの各氏に師事。



#### 小山あずさ (ヴァイオリン/ヴィオラ)

埼玉県出身。埼玉県立大宮光陵高等学校を経て、東京藝術大学音楽学部を卒業。ヴァイオリンを三戸康雄、故 浅井万水美、竹林真弓、M. ゴトーニ、小川有紀子、花田和歌子、澤和樹の各氏に、室内楽を澤和樹、花崎薫、松原勝也、山本裕泰、山崎貴子、野口千代光、大友肇の各氏に師事。2015年4月、仙台フィルハーモニー管弦楽団に入団。翌年にはデビューリサイタルを仙台で開催し大好評を博した。オーケストラ以外でも室内楽やソロ活動などの様々な分野に挑戦し続ける、新進気鋭の若きヴァイオリニストである。

## ザルツブルガー・ゾリステン

1979年にルツ・レスコヴィッツが、ソリストとして活動する実力を持つ演奏家達を集めて結成。以来演奏活動は世界各国に渡る一方、本拠地ザルツブルクでは、ルツ・レスコヴィッツが音楽監督を兼任する「ザルツブルガー・シュロス・コンツェルト」の専属アンサンブルとなっている。

パウル・バドゥラ＝スコダ、イェルク・デームス、ユードィ・メニューイン、イゴール・オイストラフ、ムスティスラフ・ロストロポーヴヴィチ、カール・ライスター、エリー・アメリングら数多くの著名アーティストと共演し、ソニーやEMI-CLASSICSなどのメジャーレーベルからもCDをリリースしている。

塩竈市では、2010年以来当ホールで菅野潤氏と共演しており、2011年秋には東日本大震災で被災した塩竈市民を励ましたいと来塩し、チャリティーコンサートを行った。



#### ルツ・レスコヴィッツ

(ヴァイオリン)  
LUZ LESKOWITZ

13歳でウィーン国立音楽大学に入学、同時にザルツブルクのモーツァルテウム音楽院で学ぶ。卒業後メニューインの招きで、ロンドンのメニューイン音楽院にて教鞭をとり、20歳でロンドンのクイーン・エリザベス・ホール、ニューヨークのカーネギーホール等にてデビュー・コンサートを行う。その後オーストリアとドイツに7つの音楽祭を立ち上げ、1979年には自らが主宰する室内楽団、ザルツブルガー・ゾリステンを設立、世界中で公演を行っている。さらに1991年からは、ザルツブルクのミラベル宮殿で開催している「ザルツブルガー・シュロス・コンツェルト」のオーナー兼音楽監督として精力的に活動している。

使用楽器はストラディヴァリウス(1707年製)。



#### ウヴェ・ヒルト＝シュミット

(チェロ)  
UWE HIRTH-SCHMIDT

ドイツ・ラール生まれ。5歳よりチェロを始め、数多くのソロおよびアンサンブルの賞を受賞する。ベルリン芸術大学においてウォルフガング・ポエッチャーに師事。これまでにヴァルガ、ゲリンガス、デメンガ、ツィメルマンなど数多くのアーティストと共演。近年ではベルリンフィルにて、サンサーンス、ショスタコーヴィッチ、ドヴォルザーク等のコンツェルトを演奏。また若き日には、ジャック・ティボー弦楽三重奏団として来日している。

使用楽器はジュゼッペ・ダラグリオ。



塩竈市遊ホール / 〒985-0052 塩竈市本町1番1号 荻番館5階  
TEL022-365-5000 FAX022-365-4100  
yuu-hall@city.shiogama.miyagi.jp

